

令和5年度 旭川大雪圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会 会議録

○日時：令和6年3月19日（火）午前10時30分から午前12時00分まで

○場所：旭川市役所7階 会議室B

○出席者

・委員（9名）

吉田豊委員，中野和弘委員，大矢二郎委員，片山兵衛委員，武田勉委員，西畑雅仁委員，
阪口貴彦委員，井口真幸委員，竹部修司委員

・オブザーバー（10名）

鷹栖町まちづくり推進課企画政策係 西間係長
東神楽町まちづくり推進課 内藤主任
当麻町まちづくり推進課企画商工係 大城主査
比布町総務企画課総合政策室 尾張係長
愛別町総務企画課企画財政係 羽野係長
上川町地域魅力創造課地域魅力創造グループ 太田主任
東川町企画総務課企画財政室 柳澤主任
美瑛町まちづくり推進課 齊藤係長，石田主事
上川総合振興局地域創生部地域政策課 天崎課長

・事務局（3名）

旭川市総合政策部 北嶋次長，政策調整課 村尾主幹，秋保

○会議資料

・次第

- ・資料1 令和5年度 旭川大雪圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会 出席者名簿
- ・資料2 旭川大雪圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会設置要綱
- ・資料3 旭川大雪圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会の会議運営について（案）
- ・資料4 連携中枢都市圏構想の概要
- ・資料5 旭川大雪圏域連携中枢都市圏事業担当学会議の進捗状況
- ・資料6 令和5年度の主な取組
- ・資料7 旭川大雪圏域連携中枢都市圏 具体的取組一覧
- ・資料8 旭川大雪圏域連携中枢都市圏 具体的取組の新規変更内容
- ・資料9 旭川大雪圏域連携中枢都市圏ビジョン（変更案）
- ・資料10 成果指標の進捗状況
- ・資料11 連携中枢都市圏構想推進要綱

○会議内容

1 開会

2 委員紹介（資料1）

各委員，各町からの出席者の紹介

3 懇談会

（1）座長，副座長選出（資料2）

○事務局から説明

事務局の村尾主幹が仮議長となり，座長の選出を行った。
事務局一任となり，事務局は大矢委員を座長に推薦し，了承された。
座長は，副座長に竹部委員を選任し，了承された。

（2）会議の運営について（資料3）

○事務局から説明

(3) 連携中枢都市圏構想の概要について（資料4）

○事務局から説明

(4) 議事

ア 旭川大雪圏域連携中枢都市圏の取組状況について（資料5, 6）

○事務局から説明

○委員からの質問・意見

（座長）東京事務所は東京のどこに所在するのか。

（事務局）東京都千代田区平河町の日本都市センター会館の12階にある。27の自治体が入っている。

イ 旭川大雪圏域連携中枢都市圏ビジョンの変更について（資料7, 8, 9, 10）

○事務局から説明

○委員からの質問・意見

（委員）次年度から新規で取り組む初期救急医療の連携について、取組内容を教えてほしい。

（事務局）夜間・休日等の初期救急医療について、8町の患者も旭川市で受け入れる体制について、ビジョンに位置付けるものである。

（委員）初期救急医療の連携の成果指標の目標値を365日に設定しているが、現状、患者を受け入れている日数はどのくらいか。

（事務局）目標値は毎日患者を受け入れる体制の維持を目的としている。現状の日数は把握していない。

（委員）昨年度も発言したが、成果指標の現状値が目標値を超えている取組については、いつ頃目標値を修正するのか。

（事務局）計画初年度の実績値が出たところであり、上方修正の時期は決めていない。状況を見ながら、情報修正を考えていく。

（座長）地域の強みを生かした産業振興について、R6年度が増えている理由と、どの程度まで増えるかなどの見込みは持っているのか。

（事務局）事業費は1市8町で関連する事業費を積み上げたものであり、各自治体の取組内容によっても増減する。R6年度は東川町の事業費が増えたことが主な理由であり、事業費に対する見込みは設定していない。

（委員）大雪カムイミントラDMOが2月から体験型カタログギフトを販売しているが感触はどうか。

（事務局）販売状況などは把握していない。

（委員）就業マッチング促進事業について、成果指標の目標値とする1400人に対して現状値が62人と低い状況にある。目標値を達成する見込みはあるのか。また、就労体験の受入企業数を教えてほしい。

（事務局）計画初年度の実績が出たばかりなので、達成見込みは回答出来ないが、受入企業数の把握など、状況を確認しながら取組を進めて行く。

（座長）目標値の達成に向けて、積極的に取組を進めて行く必要がある。

（委員）福祉の分野でも人材不足は顕著である。トライアルワーク推進協議会の取組として求人募集は行っていないのか。

（事務局）求人募集は行っていない。圏域の求職者及び企業に対し、就労体験を通じたマッチング機会の提供等を行っている。

（座長）トライアルワーク推進協議会の構成メンバーを教えてほしい。

（事務局）構成メンバーは1市8町、旭川信金、ハローワークなどである。

（座長）本圏域においても人口減少が進んでおり、各種業会で人材不足が問題となっている。様々な分野の事業が連携して人口減少対策に取り組んで行く必要がある。

（委員）子育て支援体制の充実の成果指標について、各町の利用状況を把握したいため、それぞれの数値を教えてほしい。自分の周囲では利用まで中々踏み出せないという声を聞

くので、なにか情報があれば合わせて教えてほしい。

(事務局) 本取組の成果指標は上川中部こども緊急さばねっと事業のスタッフ会員数と利用者数を記載している。各町の内訳等については確認する。^{※1}

(委員) 多様な生涯学習機会の拡充の成果指標の現状値が0の理由と、事業費が減少した理由を教えてほしい。

(事務局) 最新の状況として、令和5年度の実績は1件であった。担当部局と情報共有しながら、取組を進めていきたい。事業費が減少した主な理由は、東川町の事業費が減少したためである。

(委員) 令和5年度に実施した連携講座の内容を具体的に教えてほしい。

(事務局) 件数の把握は行っているが、講座の内容までは把握していない。

(座長) 毎年、一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアムの主催で、「あさひかわオープンカレッジ」を開催している。本サイトにも掲載されていると思う。

(委員) 不登校児童生徒の受入機関の共同利用について、不登校児童生徒の実態を把握したいので成果指標の算出数値を教えてほしい。

(事務局) 令和4年度の現状値は、不登校児童生徒数が871人、そのうち専門機関や医療機関等において相談・指導を受けた不登校児童生徒は330人となっている。令和3年度数値と比較すると、令和4年度は母数が増えている。

(委員) 周辺町から利用する場合、教育支援センターへの移動が長距離となるため、少しハードルが高いと思われる。

(事務局) 次年度から日章小学校に分室を設置し、オンラインでも対応を行う予定である。

(委員) 図書館相互のネットワーク化について、成果指標には電子図書館の利用者数も含まれているのか。

(事務局) 電子図書館は令和5年2月から運用を開始している。成果指標に含まれているかは確認する。^{※2}

(座長) 例えば、各町から旭川市へ負担金を払い施設を充実させていく方が、これから各町で電子図書館を整備するよりもコスト縮減が図れると思う。

(事務局) 各町、担当部局とも情報共有したい。

(委員) 農業生産技術等情報共有事業は、現在1市2町の取組である。農業生産技術等に関する情報共有を促進するため、今後、連携町が増えていくことが望ましいと思う。

(委員) 新規就農者等の育成について、成果指標の現状値を掲載していない理由を教えてほしい。

(事務局) R5年度から開始した取組であるため、R4の現状値は記載していない。R6年度の懇談会時にはR5の現状値が報告できる。

(委員) 公共施設の相互利用の促進について、取組内容に住民の利用条件の統一化に向けて検討すると記載があるが、この利用条件は利用料金をイメージしているのか。

(事務局) 利用料金などを想定している。

(座長) 施設によっては、当該施設を有する自治体の住民であるか否かで利用料金の設定が変わる場合がある。ハードルは高いかも知れないが引き続き検討してほしい。

(委員) 29ページ以降の各取組について、主な取組内容は出来るだけ具体的に記載した方がよいと思う。

(事務局) 各町から報告があった取組を集約し記載しているが、取組の内容によっては具体的な記載が難しいものもある。各町と共有しながら検討を進めていきたい。

(座長) 昨年も発言したが、鉄道利用促進策として、富良野線にサイクルトレインが導入出来れば、利用客も増えると考え。今年、釧網線でサイクルトレインの導入を検討している報道があった。富良野線への導入が難しい理由があるのか。

(事務局) 今年度、5か年にわたるアクションプランが終わったが、次年度以降も引き続き、JRや沿線自治体などが協議し、様々な利用促進策が行われていくと思う。取組の主

体がＪＲであるため、実施できるか断言出来ないが、引き続き担当部局と情報共有する。

（座長）住民の日常的な移動手段として自転車利用の促進を提案したい。旭川では市内の主な道路に青い矢印（矢羽根）で自転車レーンが区画されているが、デンマークのコペンハーゲンなどでは自転車専用レーンが歩車道と別に整備されている。いろいろな制約があるかもしれないが、自転車を利用しやすい環境を整えれば更に住みやすい街になるのではないかと考える。

（委員）当町においても、若年層の流出が著しい。働く場所を作るため、中心市街地の活性化や起業支援を行っているが、特に企業誘致については、１市８町で連携を強化し、取り組んでいく必要があると考える。

（事務局）先日、起業誘致の関連で８町に聞き取りを行ったが、今後も情報は共有していきたいと考えている。

ウ 今後の新たな広域連携に向けた意見交換について
（イの議題と同時に取り扱った。）

（５）その他
特になし

４ 閉会

以上

※ 議事 イ 旭川大雪圏域連携中枢都市圏ビジョンの変更についての説明時における委員からの質問・意見に対する確認事項について

１．会議録中の「※１」に対する確認事項

上川中部こども緊急さぼねっと事業のスタッフ会員数（人）

旭川市	鷹栖町	東神楽町	当麻町	比布町	愛別町	上川町	東川町	美瑛町
１６８	４	１１	１	２	１	０	６	３

上川中部こども緊急さぼねっと事業の利用者数（人）

旭川市	鷹栖町	東神楽町	当麻町	比布町	愛別町	上川町	東川町	美瑛町
５０８	８４	６３	０	４	０	１	３６	２

２．会議録中の「※２」に対する確認事項

図書館相互のネットワーク化の成果指標（図書館の相互利用による貸出利用者数（人））に、電子図書館の利用者数は含んでおりません。